

# 2018年2月期 決算資料

スター精密株式会社

<https://www.star-m.jp>

証券コード 7718

2018年4月11日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## <2018年2月期決算資料>

■ 当期の概況	P 2
■ 連結業績概況	P 3
■ 四半期情報（売上高・営業利益）	P 4
■ 決算期の変更について	P 5
■ 連結業績見通し	P 6
■ 事業別売上高	P 7
■ 事業別概況	P 8
■ 設備投資/研究開発費	P 1 1
■ 貸借対照表	P 1 2
■ キャッシュ・フロー	P 1 3
■ 主な経営指標	P 1 4
■ 株主還元	P 1 5

## <中期経営計画 進捗状況>

■ 中期経営計画 進捗状況	P 1 7
■ 各事業における取り組み内容と課題	P 1 8

## <参考資料>

■ 工作機械受注台数<四半期推移>	P 2 0
■ 経営指標の推移（過去10年間）	P 2 1
■ 事業および取扱い製品	P 2 2

## 前期比で大幅な増収増益

■ 売上高	607.7億円	+24.2%	(前期比)
■ 営業利益	62.1億円	+72.2%	( " )
■ 経常利益	70.1億円	+95.8%	( " )
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	57.8億円	+81.7%	( " )

- ✓ 工作機械の販売が過去最高を記録したことなどにより、前期比で大幅な増収増益
- ✓ 当期純利益はタイの製造子会社（精密部品事業）等の減損損失があったものの、繰延税金資産の計上もあり、大幅に増加

(百万円)

	2017年2月期 実績			2018年2月期 実績		
	通期			通期		
	金額	利益率 (%)	対前期比 (%)	金額	利益率 (%)	対前期比 (%)
売上高 特機	11,081		△2.6	12,305		+11.0
工作機械	33,629		△11.9	44,342		+31.9
精密部品	4,226		△14.2	4,124		△2.4
クラウドサービス <sup>※1</sup>	-		-	-		-
合計	48,937		△10.1	60,772		+24.2
営業利益 特機	1,703	15.4	△2.4	1,851	15.0	+8.7
工作機械	4,372	13.0	△25.2	7,027	15.8	+60.7
精密部品	284	6.7	△52.0	255	6.2	△10.5
クラウドサービス <sup>※1</sup>	△357	-	-	△225	-	-
消去又は全社	△2,396			△2,699		
合計	3,606	7.4	△37.1	6,210	10.2	+72.2
経常利益	3,583	7.3	△31.2	7,015	11.5	+95.8
親会社株主に帰属する当期純利益	3,181	6.5	△14.5	5,780	9.5	+81.7

※1. クラウドサービスにつきましては、決算短信等の他の開示資料においては、特機事業に含めて記載しております

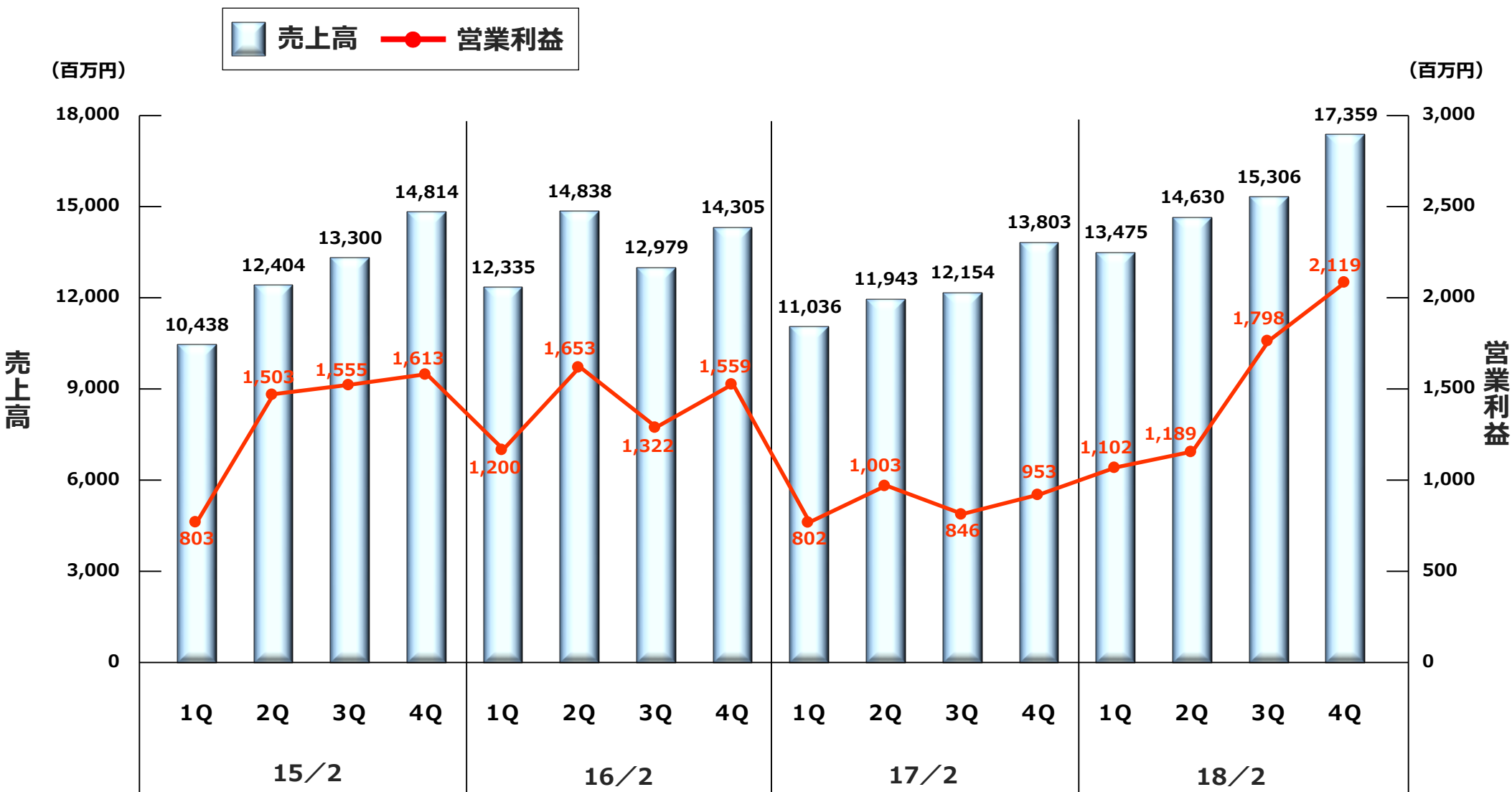
ROE (%) <sup>※2</sup>	6.9	12.9
1株当たり配当金	48円	52円
DOE (%) <sup>※3</sup>	4.1	4.3

※2. ROE (自己資本当期純利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本(期首・期末平均) × 100(%)

※3. DOE (株主資本配当率) = 普通株式に係る1株当たり個別配当金(年間) ÷ 1株当たり連結純資産(期中平均) × 100(%)

為替 レート	US \$	108.87円	112.19円
	EUR	120.36円	126.66円
	GBP	147.79円	144.52円
	CHF	110.41円	113.94円

# 四半期情報 (売上高・営業利益)



## <変更の理由>

すべての連結子会社と決算期を統一することで、グループ一体となった経営を推進するとともに、業績等の経営情報の適時・適切な開示により経営の透明性をさらに高めるため。

**2018年12月期**

(国内10カ月、海外12カ月)

決算期を2月末日から12月31日に変更し、海外連結子会社との期ズレを解消します。  
経過期間となる2018年12月期は2018年3月1日から12月31日までの10カ月間決算となる予定です。

2018年12月期の連結対象期間は以下の通り。

- ・ 当社および国内連結子会社 : 10カ月 (2018年3月1日～12月31日)
- ・ 海外連結子会社 : 12カ月 (2018年1月1日～12月31日)

	2018年12月期											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当社および国内連結子会社 (10カ月)	/		第1四半期			第2四半期			第3四半期			
海外連結子会社 (12カ月)			第1四半期			第2四半期			第3四半期			

※決算期変更は2018年5月開催予定の定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることが条件

# 連結業績見通し



(百万円)

	2018年2月期 実績		2019年2月期 予想(参考)※		
	金額	利益率 (%)	金額	利益率 (%)	対前期比 (%)
売上高 特 機	12,305		12,780		+3.9
工作機械	44,342		42,060		△5.1
精密部品	4,124		4,060		△1.6
クラウドサービス※ <sup>1</sup>	-		-		-
合計	60,772		58,900		△3.1
営業利益 特 機	1,851	15.0	1,850	14.5	△0.1
工作機械	7,027	15.8	6,750	16.0	△3.9
精密部品	255	6.2	370	9.1	+45.1
クラウドサービス※ <sup>1</sup>	△225	-	-	-	-
消去又は全社	△2,699		△2,270		
合計	6,210	10.2	6,700	11.4	+7.9
経常利益	7,015	11.5	6,800	11.5	△3.1
親会社株主に帰属する当期純利益	5,780	9.5	5,300	9.0	△8.3

※1. クラウドサービスにつきましては、決算短信等の他の開示資料においては、特機事業に含めて記載しております

ROE (%) ※ <sup>2</sup>	12.9	-
1株当たり配当金	52円	-
DOE (%) ※ <sup>3</sup>	4.3	-

※2. ROE (自己資本当期純利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 自己資本(期首・期末平均) × 100(%)

※3. DOE (株主資本配当率) = 普通株式に係る1株当たり個別配当金(年間) ÷ 1株当たり連結純資産(期中平均) × 100(%)

為替レート			計画レート
	US \$	112.19円	105.00円
EUR	126.66円	130.00円	
GBP	144.52円	145.00円	
CHF	113.94円	110.00円	

※4. 為替感応度は、外貨1円当たりにおける営業利益影響度

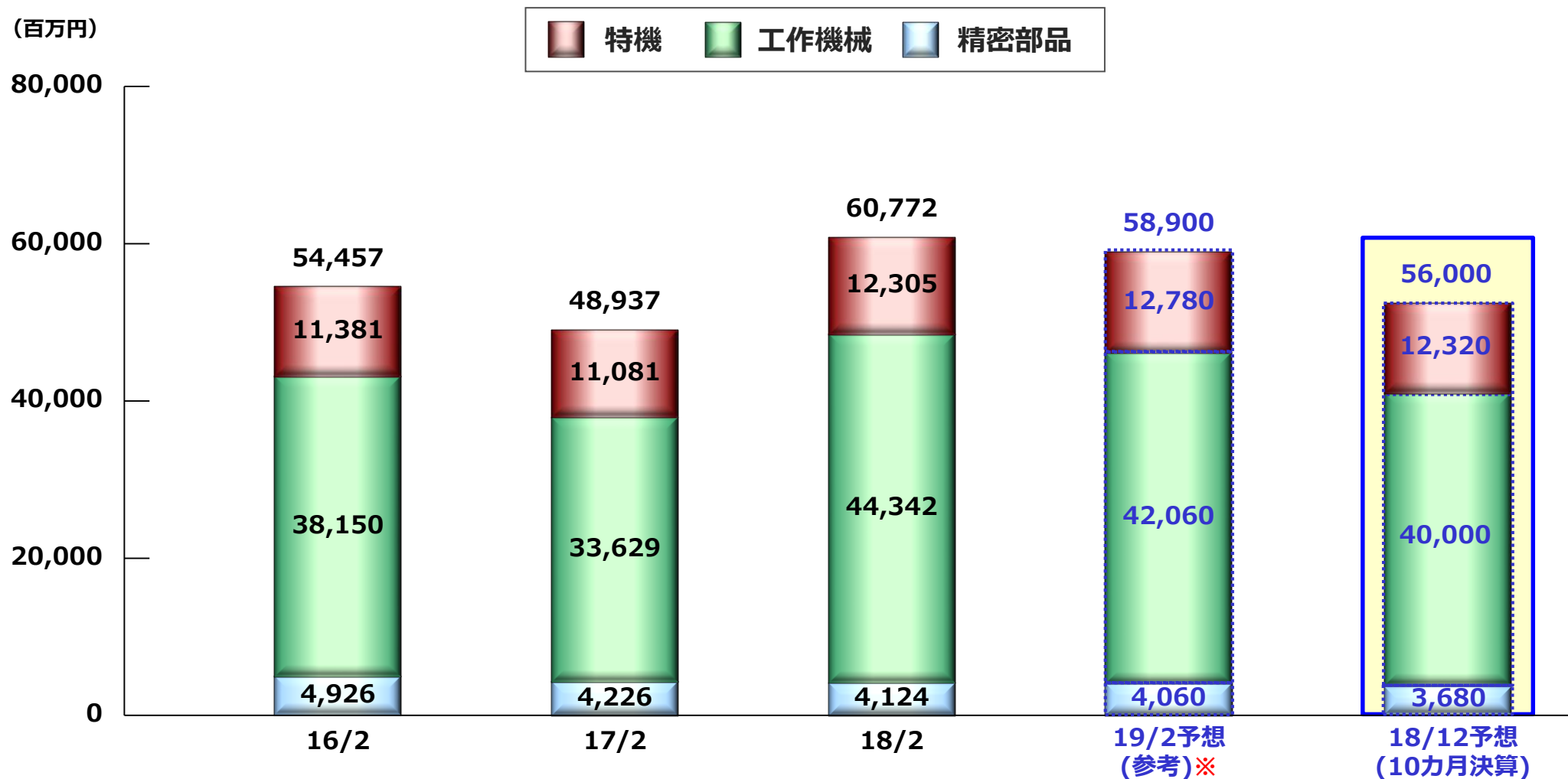
2018年12月期 予想 (10カ月決算)	
金額	利益率 (%)
12,320	
40,000	
3,680	
-	
56,000	
1,950	15.8
6,680	16.7
290	7.9
-	-
△2,020	
6,900	12.3
7,000	12.5
5,400	9.6

11.5
54円
4.2

計画レート	為替感応度※ <sup>4</sup>
105.00円	28百万円
130.00円	53百万円
145.00円	9百万円
110.00円	29百万円

※2019年2月期予想(参考)として示す数値は、2018年2月期実績に対して同条件で比較を行うため、従来通りの決算期間(12カ月)にて算出。

# 事業別売上高

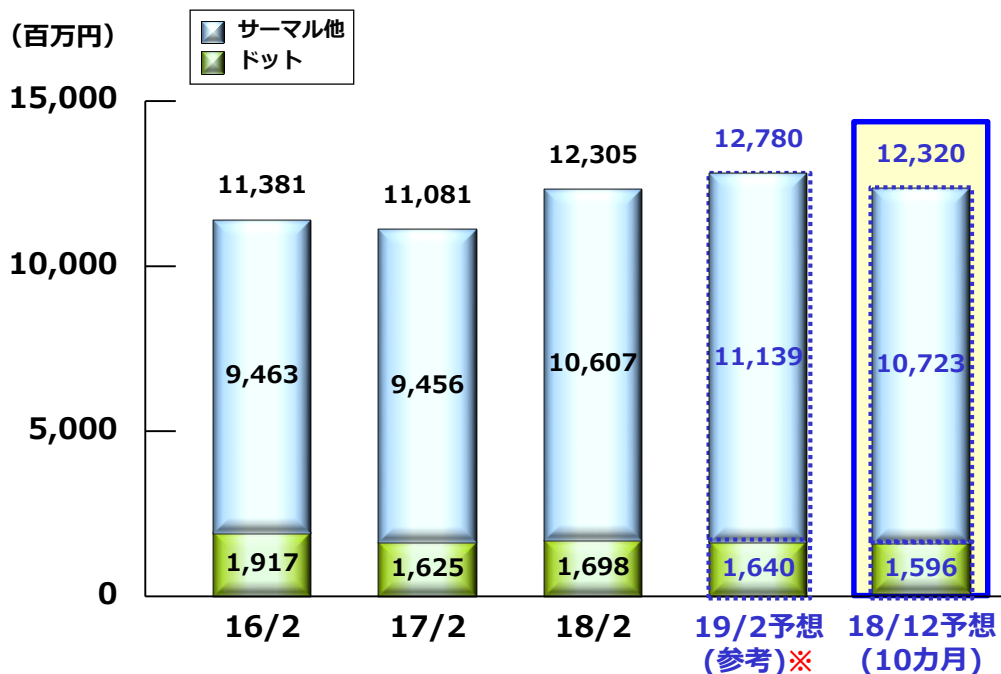


※19/2予想(参考)として示す数値は、実績に対して同条件で比較を行うため、従来と同じ決算期間(12カ月)にて算出。





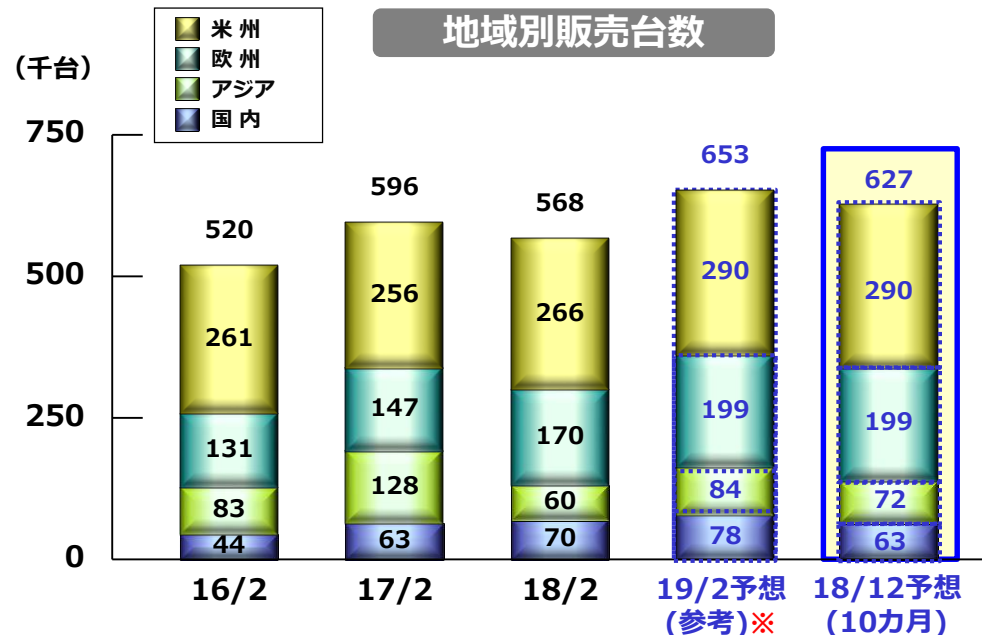
## 売上高



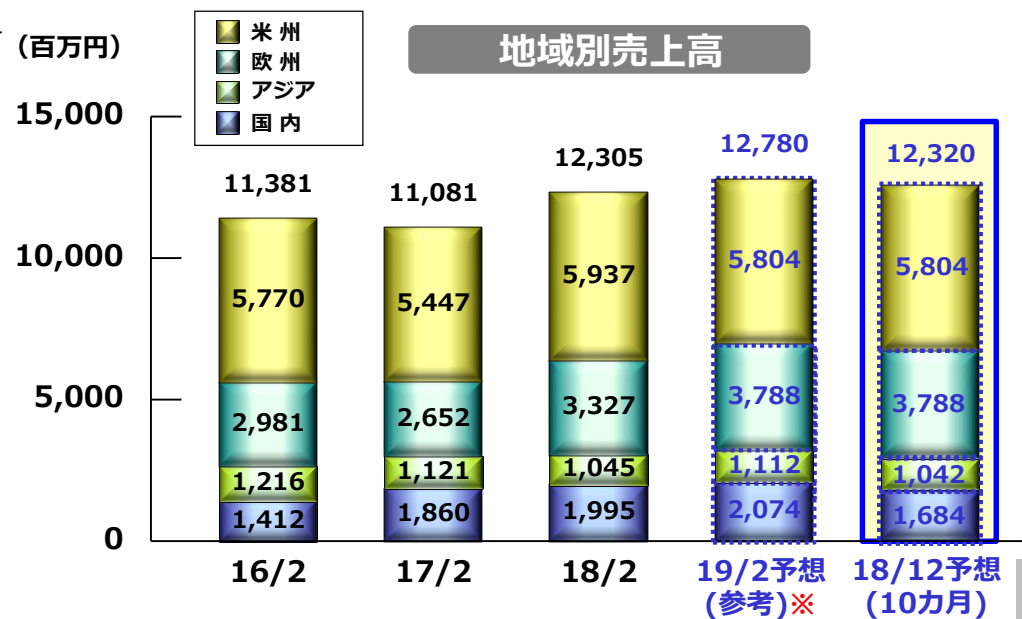
- ・ 米国市場は前半に販売代理店の在庫調整の影響を受けたものの、後半にかけ販売が伸長し、売上は増加
- ・ 欧州市場は先進国を中心とした市況の回復により、売上は大幅に増加
- ・ アジア市場は中国でドットインパクト製品の販売が伸び悩み、売上は減少
- ・ 国内市場はmPOS向けの販売が堅調に推移し、売上は増加

※19/2予想(参考)として示す数値は、実績に対して同条件で比較を行うため、従来と同じ決算期間(12カ月)にて算出。

## 地域別販売台数

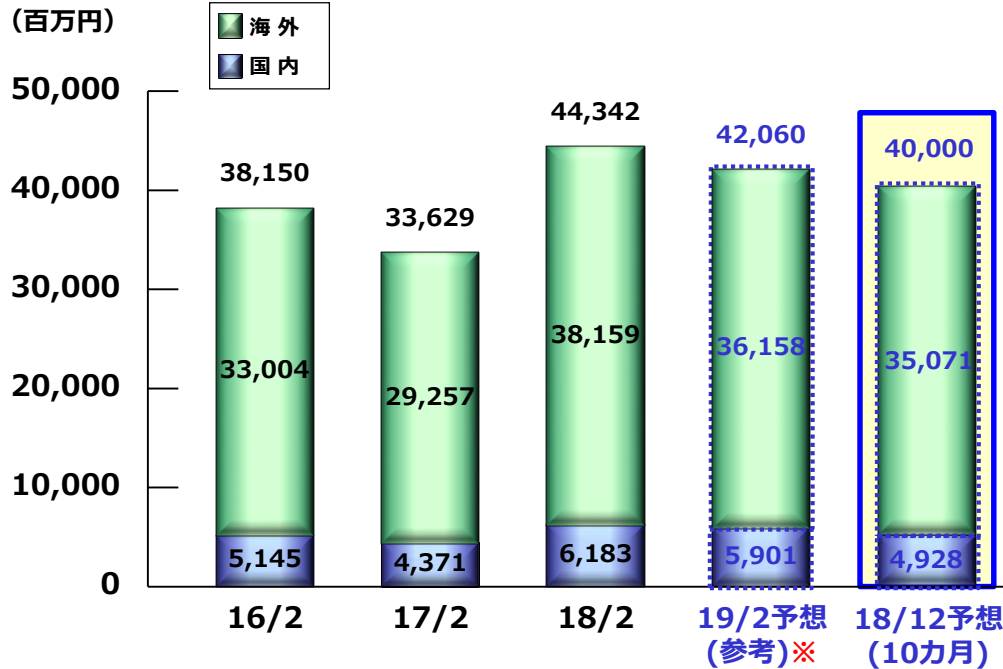


## 地域別売上高





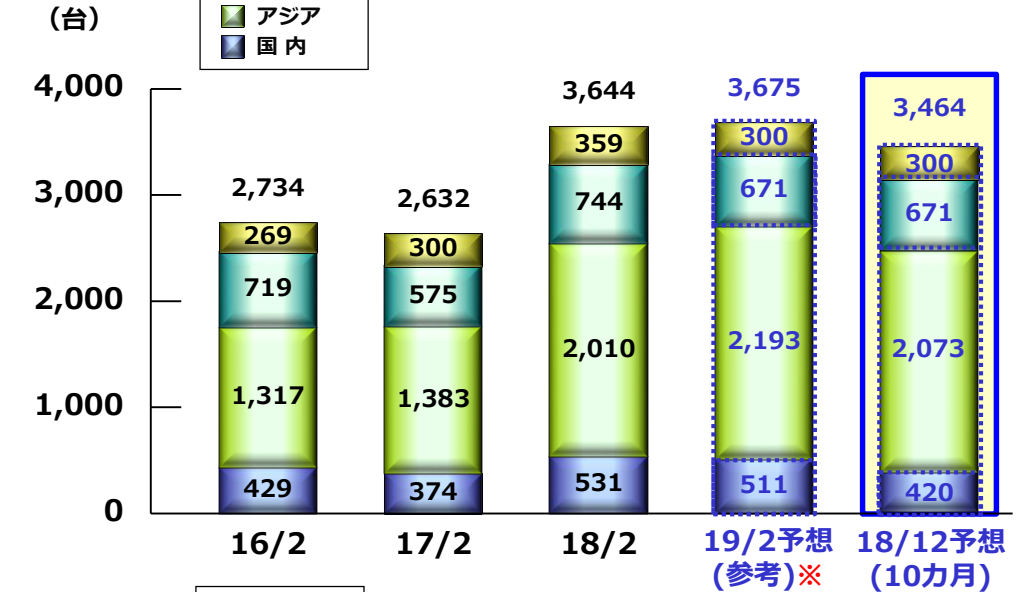
## 売上高



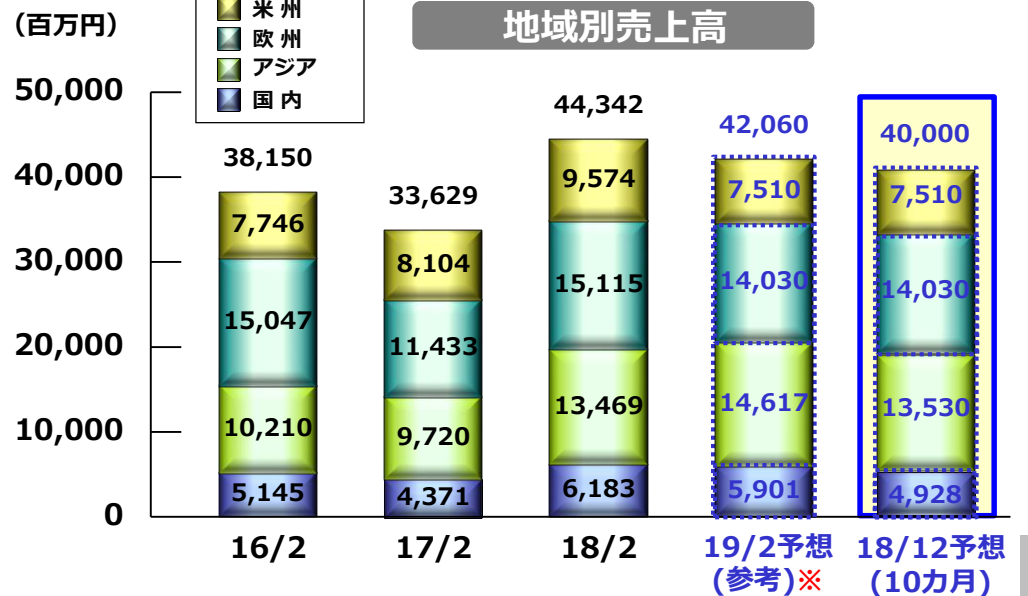
- ・ 米国市場は医療関連を中心に、売上は増加
- ・ 欧州市場は自動車関連を中心に設備投資の動きが続き、売上は大幅に増加
- ・ 中国を中心としたアジア市場は自動車や通信、医療関連が好調に推移し、売上は大幅に増加
- ・ 国内市場は自動車関連の販売が好調に推移し、売上は大幅に増加

※19/2予想(参考)として示す数値は、実績に対して同条件で比較を行うため、従来と同じ決算期間(12カ月)にて算出。

## 地域別販売台数

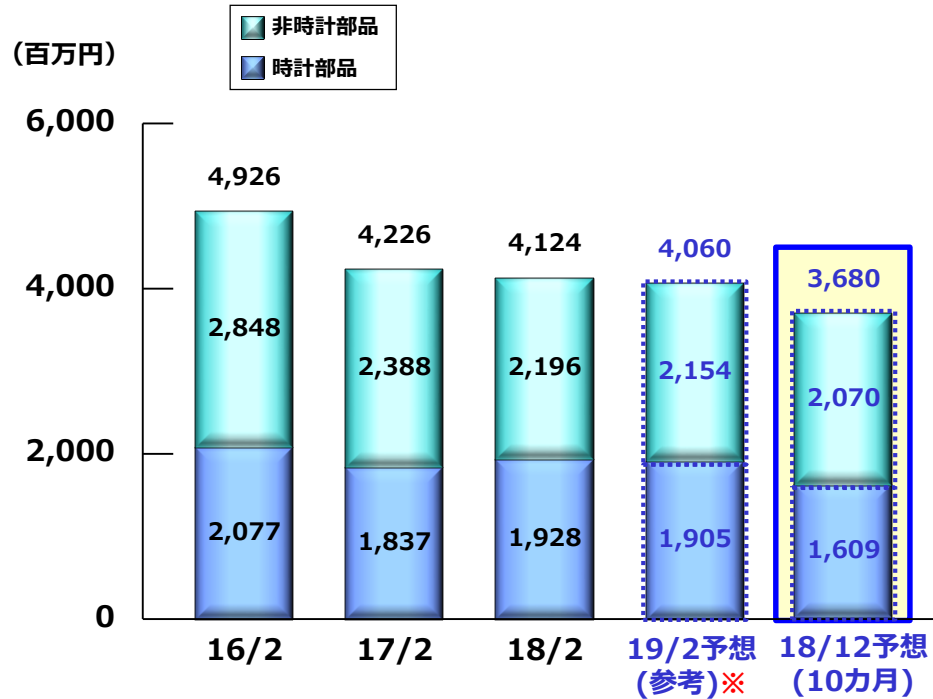


## 地域別売上高

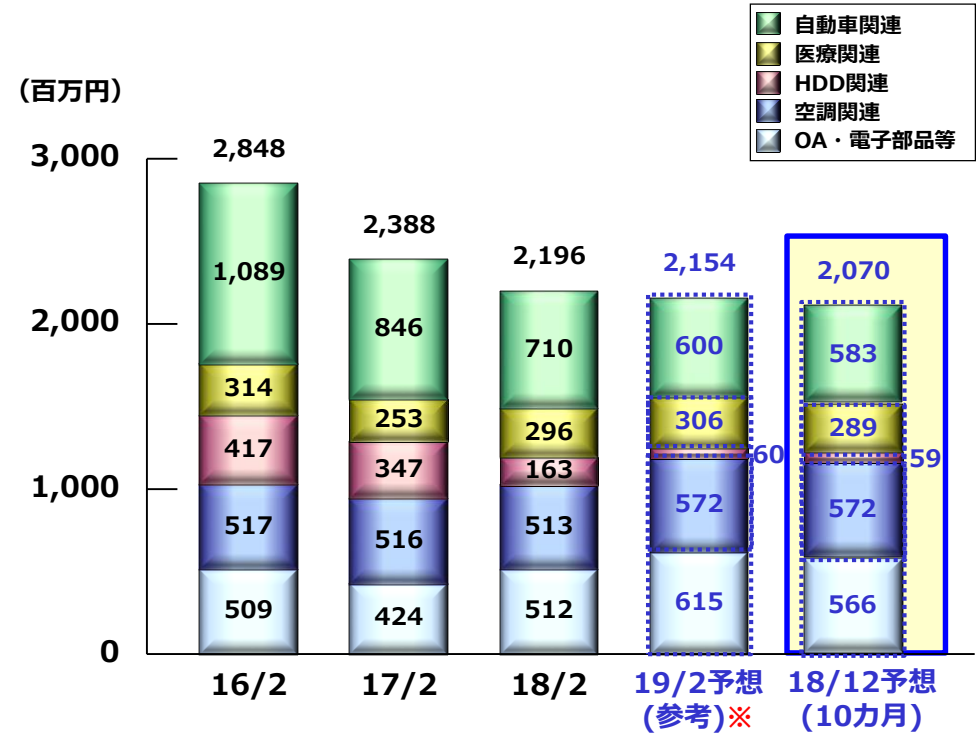




## 売上高



## 非時計部品売上高



- ・時計部品は、前半に腕時計メーカーの生産調整の影響を受けたものの、後半にかけ販売が堅調に推移し、売上は増加
- ・非時計部品は、医療関連部品などは堅調に推移したものの、HDD部品および自動車部品が減少したため、売上は減少

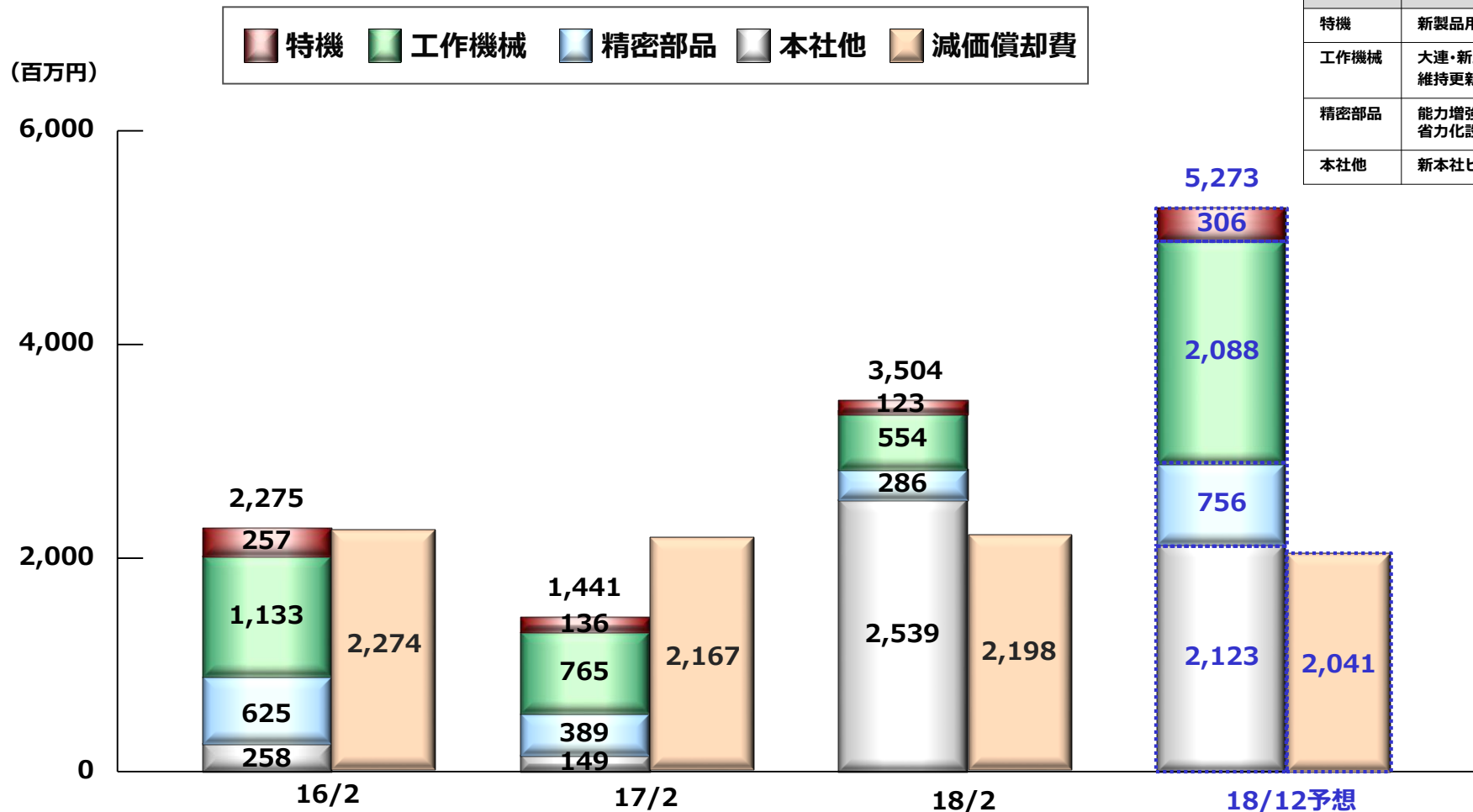
※19/2予想(参考)として示す数値は、実績に対して同条件で比較を行うため、従来と同じ決算期間(12カ月)にて算出。

# 設備投資／研究開発費

## 設備投資

【主な設備投資予定】

	内 訳
特機	新製品用の金型等
工作機械	大連・新工場棟関連 維持更新用の設備
精密部品	能力増強用・合理化・ 省力化設備
本社他	新本社ビル関連



## 研究開発費

(金額：百万円)

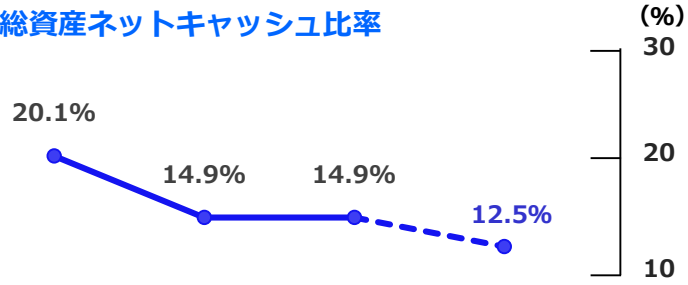
	16/2	17/2	18/2	18/12 予想
研究開発費	2,005	2,032	1,994	1,394

# 貸借対照表

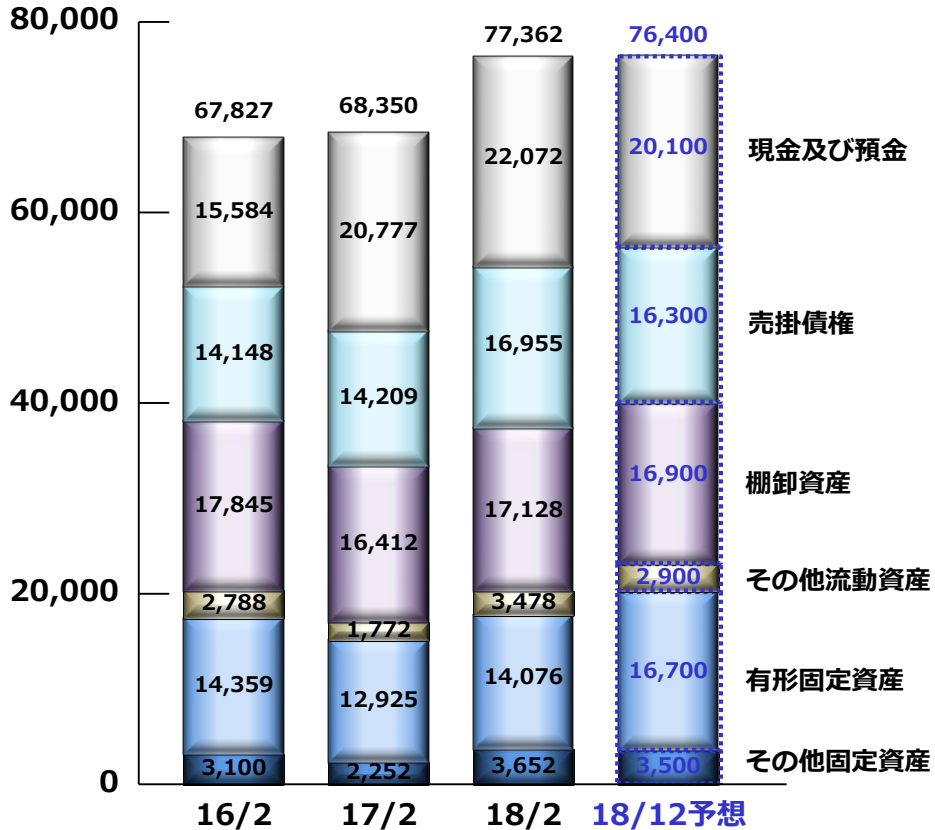


## 資産

総資産ネットキャッシュ比率

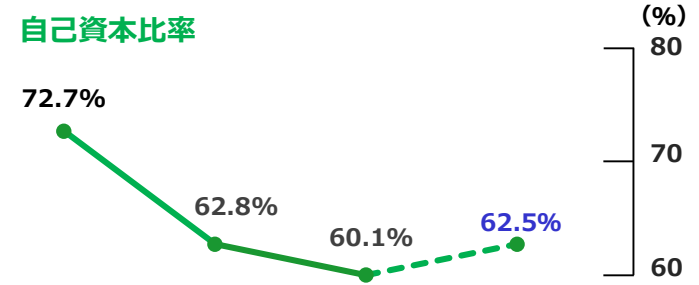


(百万円)

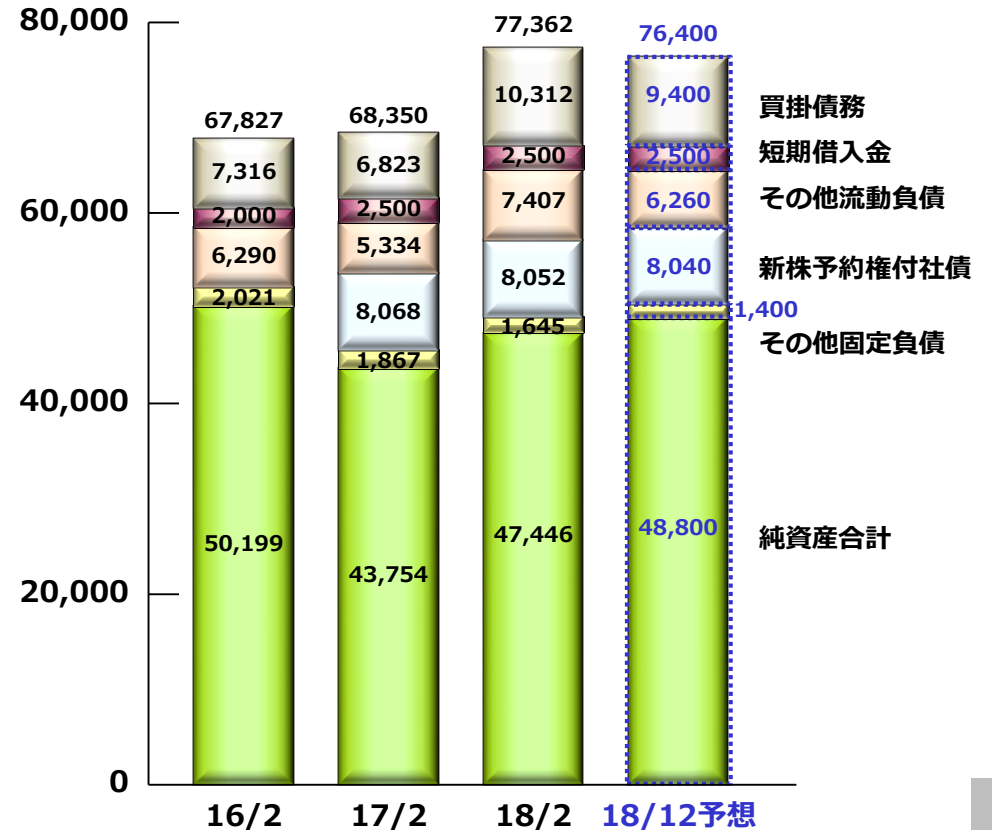


## 負債・純資産

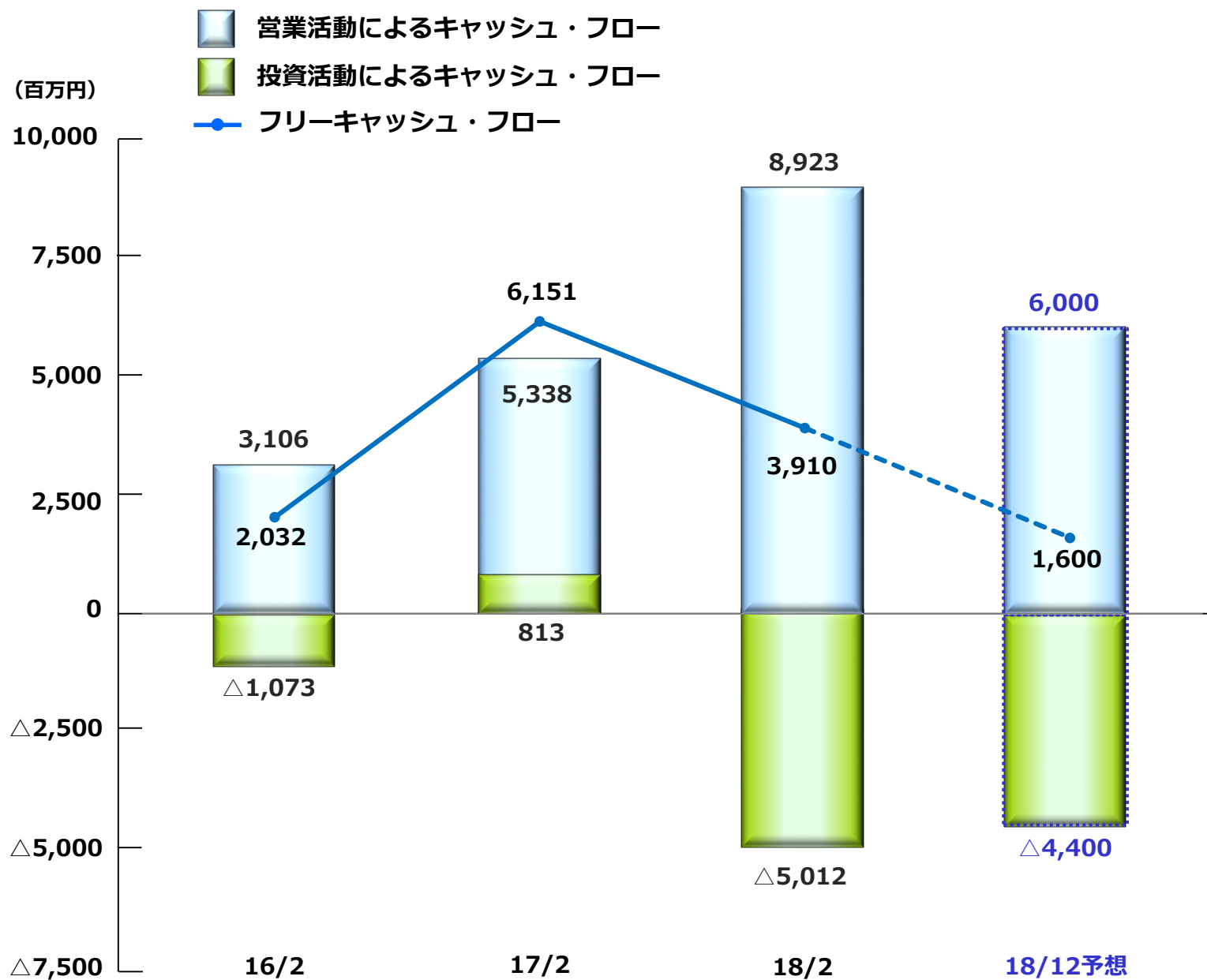
自己資本比率



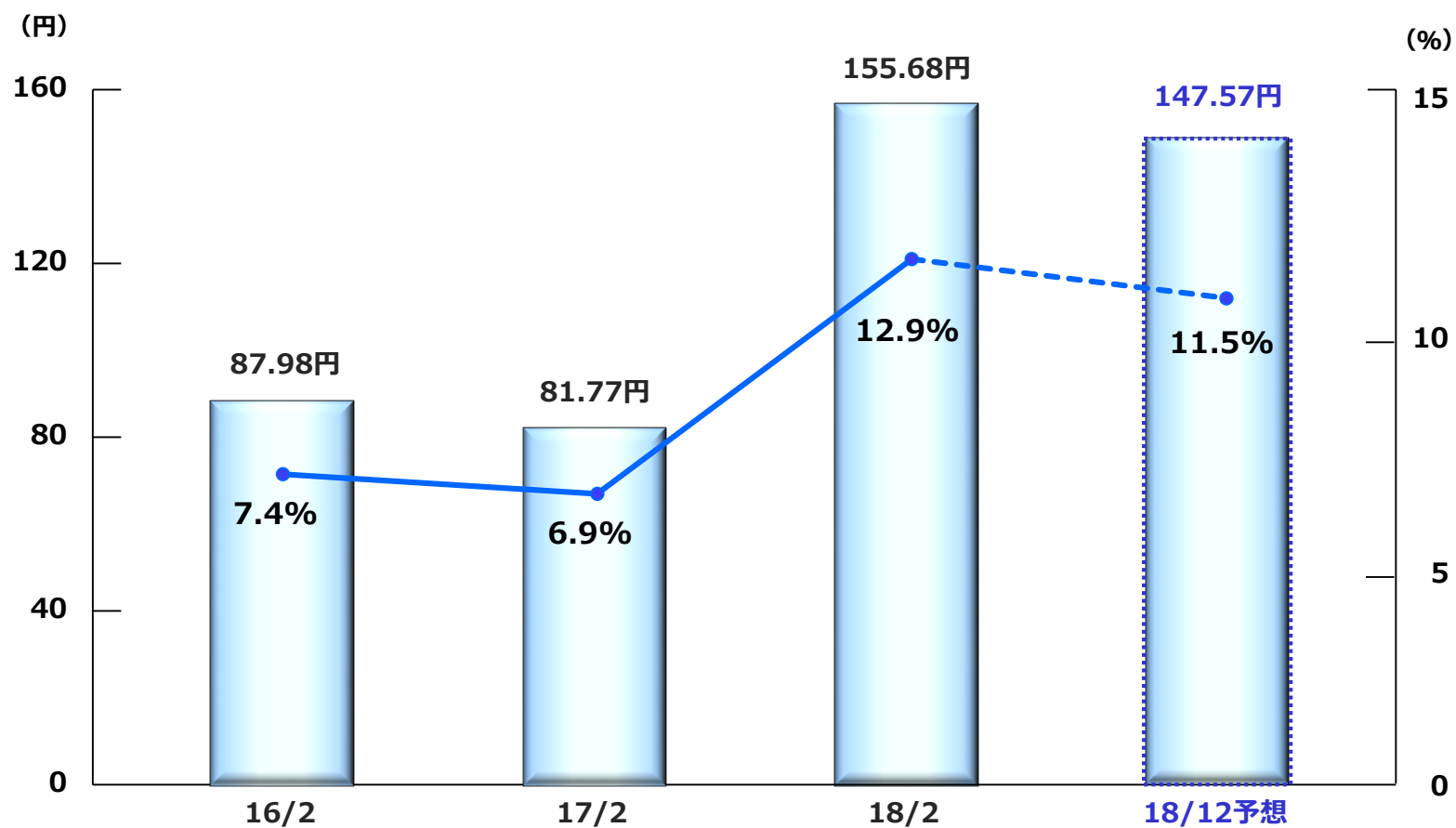
(百万円)



# キャッシュ・フロー



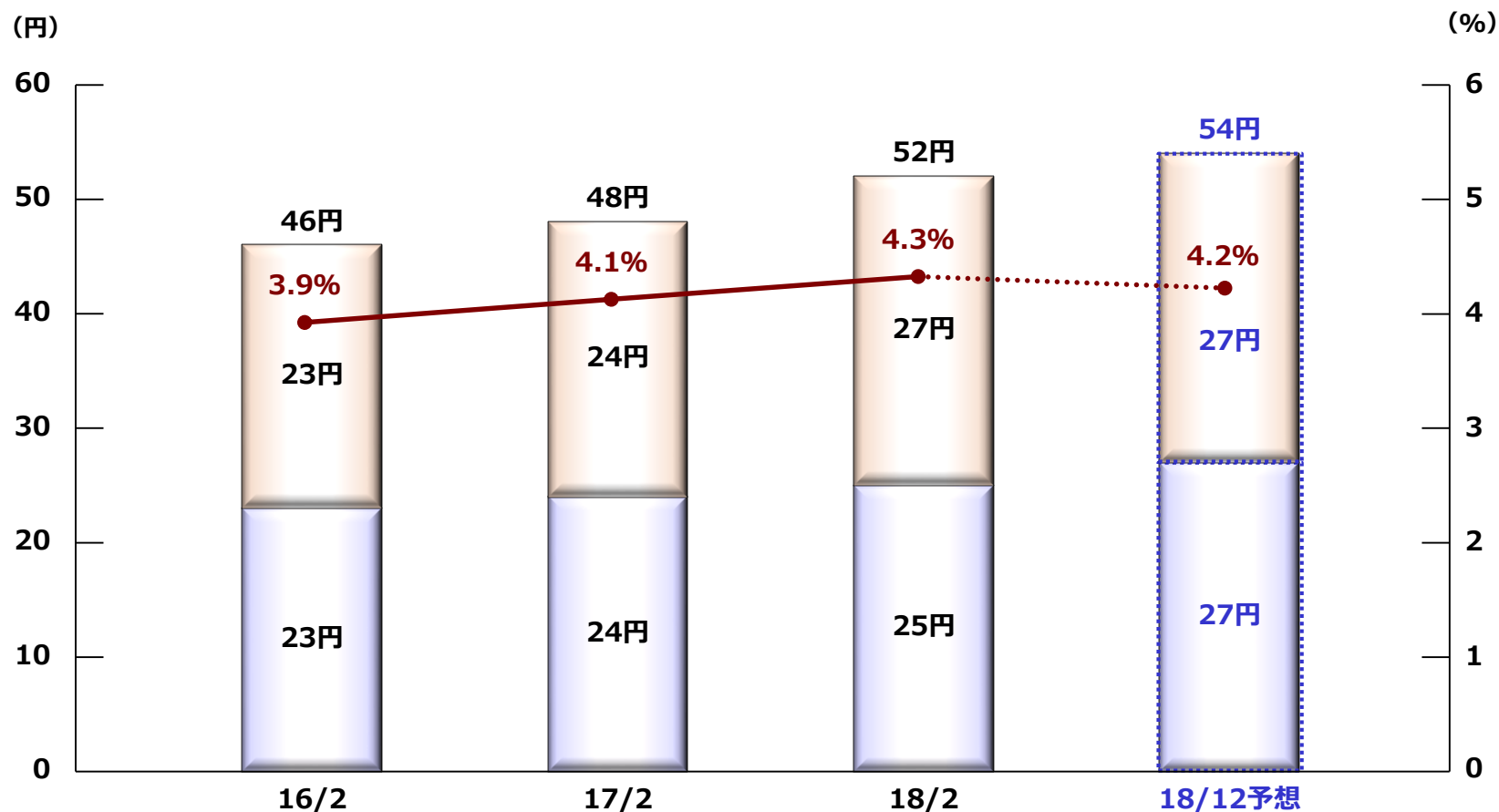
■ EPS (1株当たり当期純利益)  
● ROE (自己資本当期純利益率)



- ・ 総還元性向・・・50%以上
- ・ 目標DOE・・・4.5%以上

1株当たり期末配当金
  1株当たり中間配当金

DOE (株主資本配当率)

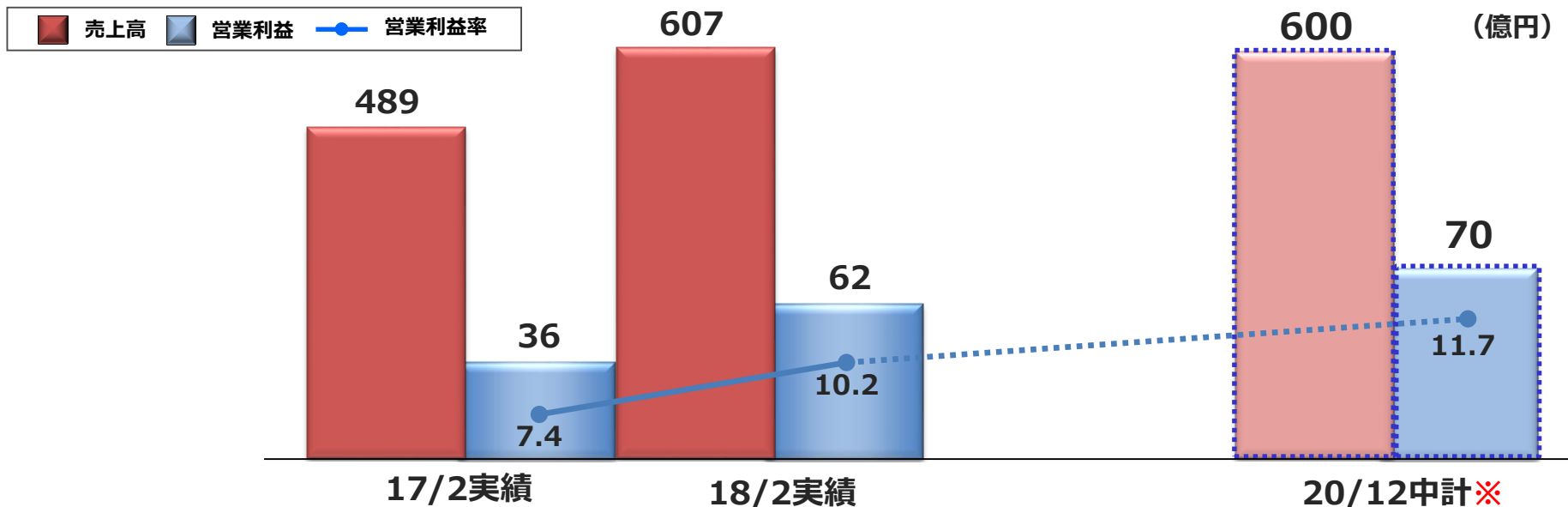


総還元性向	52.3%	257.3%	53.1%	54.9%
-------	-------	--------	-------	-------





# <中期経営計画 進捗状況>

中計1年目は工作機械事業の好調により、売上目標は超過。  
営業利益も高進捗となる。



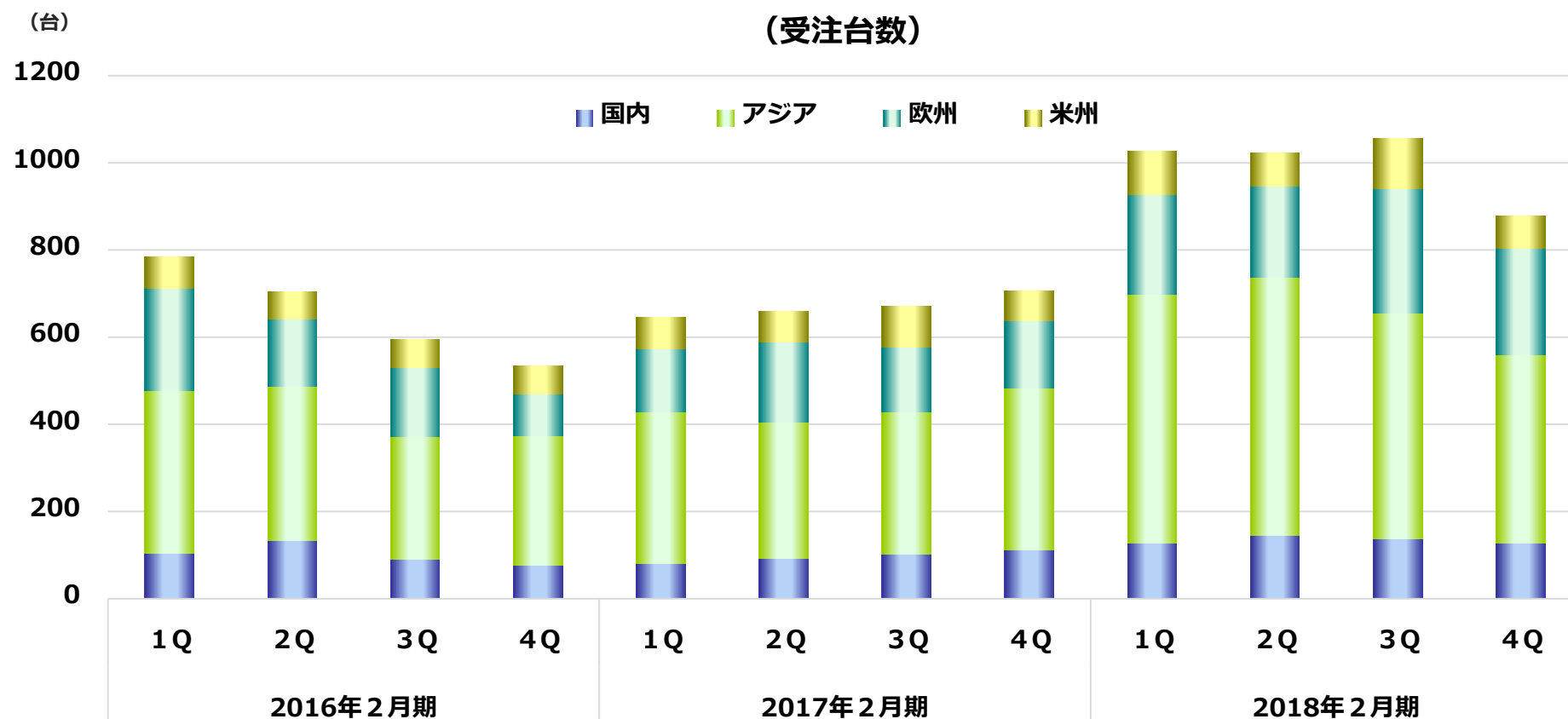
ROE		6.9%	12.9%	12%以上
DOE		4.1%	4.3%	4.5%以上
1株当たり配当金		48円	52円	60円
総還元性向		257.3%	53.1%	50%以上
為替レート	US\$	108.87円	112.19円	110.00円
	EUR	120.36円	126.66円	115.00円

※当社は次期より決算期を2月から12月に変更することを予定しております。従いまして、中期経営計画につきましても当初の2021年2月期目標値を2020年12月期目標値と読み替えております。

事業別	戦略(重点施策)	取り組み実績・課題
<b>特機事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高付加価値製品の開発</li> <li>■ Brexitを見据えた欧州販売拠点の再編</li> <li>■ サプライチェーン効率化によるコストダウン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ mPOS市場向け新ブランド「mCollection™」を発表</li> <li>■ 新たな欧州販売拠点をドイツに設立</li> <li>■ サプライチェーンマネジメント強化を目指した事業部再編</li> </ul> 
<b>工作機械事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主軸固定型自動旋盤のシリーズ化</li> <li>■ IoT関連ソフトの開発</li> <li>■ モジュラー設計・生産によるリードタイム短縮と在庫削減</li> <li>■ 中国におけるサービス体制強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主軸固定型自動旋盤の開発推進</li> <li>■ 稼働監視システムの開発推進</li> <li>■ モジュラー設計・生産の製品ラインアップ拡充</li> <li>■ 中国・大連工場における新工場棟建設の決定</li> </ul>  <p style="text-align: right;">中国・大連工場新棟(イメージ)</p>
<b>精密部品事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新規顧客および市場の開拓</li> <li>■ 生産の合理化・無人化の推進</li> <li>■ IoT活用による稼働率向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ HDD部品の需要減に対応した海外生産拠点の再編</li> <li>■ 自動化・無人化設備の新規導入</li> </ul>
<b>新規事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ M&amp;A、事業提携等</li> <li>■ 振動発電</li> <li>■ クラウドサービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業アライアンスの推進</li> <li>■ 振動発電事業からの撤退</li> <li>■ クラウドサービス事業の体制見直し</li> </ul>

# 〈参考資料〉

# 工作機械受注台数 <四半期推移>



	3-5月	6-8月	9-11月	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月	12-2月
米州	74	63	66	66	73	72	94	69	99	76	115	75
欧州	233	155	157	95	144	183	148	155	228	209	287	245
アジア	373	354	281	298	347	313	326	371	571	592	517	432
国内	105	133	91	76	81	92	102	112	128	145	137	127
合計	785	705	595	535	645	660	670	707	1,026	1,022	1,056	879

# 経営指標の推移（過去10年間）



	売上高 (百万円)	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		EPS (円)	ROE (%)	DOE (%)	1株当たり 年間配当金 (円)
		(百万円)	利益率 (%)	(百万円)	利益率 (%)	(百万円)	利益率 (%)				
2009年2月期	56,952	8,544	15.0	8,923	15.7	4,338	7.6	85.66	7.3	3.8	45.0
2010年2月期	29,180	△3,984	-	△3,884	-	△8,555	-	△187.95	-	2.2	22.0
2011年2月期	35,717	1,428	4.0	1,194	3.3	161	0.5	3.71	0.4	2.5	22.0
2012年2月期	41,654	3,952	9.5	4,025	9.7	2,426	5.8	56.94	6.7	3.0	26.0
2013年2月期	37,858	1,579	4.2	2,254	6.0	2,299	6.1	54.66	6.0	3.3	30.0
2014年2月期	43,481	2,606	6.0	3,219	7.4	1,143	2.6	27.17	2.7	3.4	34.0
2015年2月期	50,957	5,476	10.7	6,150	12.1	4,695	9.2	111.36	9.8	3.9	44.0
2016年2月期	54,457	5,735	10.5	5,206	9.6	3,720	6.8	87.98	7.4	3.9	46.0
2017年2月期	48,937	3,606	7.4	3,583	7.3	3,181	6.5	81.77	6.9	4.1	48.0
2018年2月期	60,772	6,210	10.2	7,015	11.5	5,780	9.5	155.68	12.9	4.3	52.0
2018年12月期(予想)	56,000	6,900	12.3	7,000	12.5	5,400	9.6	147.57	11.5	4.2	54.0

## 特機 事業



キャッシュドローア&プリンター  
mPOP



小型プリンター  
TSP100III



モバイルプリンター  
SM-L200

## 工作機械 事業



スイス型CNC自動旋盤 SV-20R



スイス型CNC自動旋盤 SR-38 type B



スイス型CNC自動旋盤 SR-32JII type B

## 精密部品 事業

### 時計部品



### 非時計部品

(自動車用・空調機器用・HDD用・医療用等部品)



(自動車用部品)